

N部門

(知的障害教育部門)

分類外の様々な教材

教材ガイド



鹿本学園キャラクター
シカちゃん モトちゃん

平成27年度 第2回作成

東京都立鹿本学園

目次

- これできみも鉄道好きに
- コンビニde朝ごはん
- ひとりでできるもん
- ぼくとわたしの連続技
- ボタンのひも通し
- リサイクルアート・桜の木
- リズムを作ろう
- 見よう・聞こう
- 光る！香る！虹色スライム
- 今日の予定表を作ろう
- 獅子舞
- 目指せワクチン1本！

これできみも鉄道好きに ～関東鉄道DVD～

対象児童・生徒

鉄道クラブ 児童
鉄道が好きな児童・生徒用

鉄道好きの児童・生徒

太田ステージ



ねらい

- ・路線の名前を覚える。
- ・趣味の幅を広げる。
- ・好きな路線を増やし、楽しみを広げる。

- ・オリジナルDVD。列車が走行している場面、展望(運転台)の映像に加え、路線の解説などを文字に入れ、視覚的に分かりやすくしている。
- ・児童によっては、今日はどの路線が良いか選ぶこともできた。

教材の使い方 (指導方法)

- ・子供たちに見たいDVDを呈示する。(今はやっていないが、鉄道の写真カードを添付して呈示する。)
- ↓
- ・実際映像を見る。
- ↓
- ・よかった場面などを聞いたりする。

Let's コンビニde朝ごはん ～どんな朝ごはんを購入したらいいのかな？～

対象児童・生徒

中学校家庭科の中学生の1日必要なエネルギー量及び栄養素を履修しているA課程相当の中高生男女。
将来、朝ごはんをコンビニエンスストア(以下「コンビニ」と称す。)自分で購入して食べる可能性のある生徒。

部門関係なくA課程相当



ねらい

- (スライド1)
- ・1日に必要なエネルギー量がわかり、それを考慮して購入計画を立てることができる。
 - ・各栄養素がバランスよく含まれるように、選択することができる。
 - ・味覚の偏りがないように、選択することができる。
- (スライド2)
- ・食事バランスガイドを使用して、1日に必要なエネルギー量や各栄養素のバランスを考慮して、1食分の食事(朝食)をコンビニの品で揃えることができる。

スライド1は平成26年度、スライド2は平成27年度のチャレンジセミナーで実施した授業で使用したものです。両スライド共に、挿絵(写真)やアニメーションを駆使して、授業を展開しやすくしたり、興味を示し理解につなげられるように工夫しました。
特にスライド2は、授業の内容に沿って、Safariのインターネットを使って調査をしたり、考察をしたりすることができるように、iPadを活用した授業実践をねらいに、スライドショーを作成しました。これにより、アプリのアイコンを起動させることで、スライドショーを見ながら、1台で同時にインターネットを活用する授業が可能となりました。

教材の使い方 (指導方法)

- (スライド1)
- ・提示物としてプラズマディスプレイ等で映し出し、講義形式で授業を進めていく。
- (スライド2)
- ①iPadにDropBox等で本スライドを入れる。(本スライドはPower Pointで作成しました。)
 - ②Safariで農林水産省または厚生労働省のHP等から「食事バランスガイド」、好きな(購入予定の)コンビニのHPから商品案内のページを開いておく。
 - ③①~②の準備ができたiPadを一人に1台ずつ配布する。
 - ④生徒は、授業を聞きながら、スライドをスクロールしていく。また、授業進行に従ってSafariの②の2つホームページを活用して調べたり、考察したりする。

ひとりで できるもん！

対象児童・生徒

- ・写真を手がかりに落ち着いて活動させたい。
- ・全体の手順がまだ未獲得。

N 小4 全学級

太田ステージ III - 1 ~ IV以上



ねらい

- ・「今度は〇〇だから、やってみよう！」と自信をもって活動する。
- ・やることを確認しながら主体的に活動する。

・100円ショップで材料が全て揃う。

・児童が作業をしている写真を使い注目しやすいようにした。

・作業の初期段階、手順表があることで一人で作業をすすめることができる。

教材の使い方 (指導方法)

- ・レシピカードを対象児童の机の上に置き、各自カードをめくりながら全体の説明を聞く。
- ・全体の説明後、手順表を見ながら順に各自作業を行う。
- ・終了したら教員に報告をするように伝える。

ぼくとわたしの連続技 ～器械運動ワークシート～

対象児童・生徒

・ 中学部 保健体育・器械運動の基本的な技の習得前、習得中、及び、連続技への移行段階にある生徒。

N 中1

太田ステージ III - 1 ~



ねらい

・ 器械運動において、基本的な技における自分の動作イメージと写真イメージを合わせられる。
・ 自分で考え、具体的なイメージをもって、基本的な技を組み合わせた連続技を構成することができる。

・ それぞれの技において、生徒が動きを想起しやすい映像をモデルにした。

・ 具体的操作をしながら試行錯誤できるように、【技カード】を何度も着脱可能にした。

教材の使い方 (指導方法)

・ 器械運動の基本的な技の練習に入る段階で！！

→ 提示し、教員の手本と【技カード】とのマッチングをすることで、具体的ボディイメージの定着を。
→ 教員と一緒に【技カード】を見ながら練習に取り組むことで



・ 器械運動の基本的な技の練習が終了・・・

→ 連続技を自分で考えるヒントに
→ いずれはこのシートがなくても、自分の力で3つの技を連続で行えるように



ボタンの「ひも通し」 ～シャツのボタンが、できる!～

対象児童・生徒

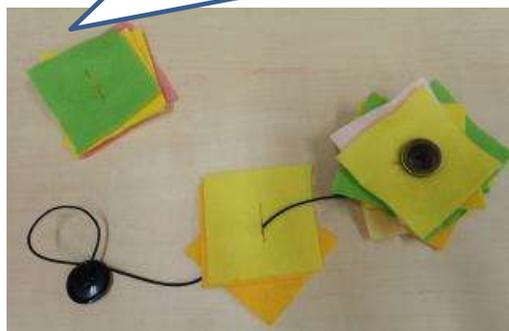
シャツのボタンのはめ外しが難しいが、ボタンの大きさや布の素材によってはできることもある生徒。

ビーズにひもを通すことなど、手先の課題に取り組むことに慣れている生徒。

N 中1～2 知的障害学級

太田ステージ Ⅰ～Ⅱ

はじめは、フェルトで大きなボタンを使用する。ボタンとボタンはゴムひもで結ぶ。二種類のボタンのどちらからでも、ひも通しができる。



ねらい

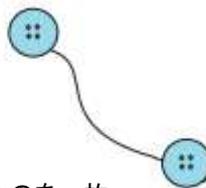
- ・シャツのボタンをはめたり外したりできるようになる。
- ・ボタンはめに自信をもって取り組めるようになる。
- ・落ち着いて集中して手先の作業に取り組めるようになる。

大きなボタンでできるようになったら、だんだん小さなボタンにしていく。フェルトだとやわらかいので、小さなシャツのボタンでも通しやすい。



教材の使い方 (指導方法)

着なくなったシャツのボタンホールを切り取り、パイアテープで縁取りする。一枚のシャツから5～7つのボタン通し教材を作ることができる。



① 全部はめたものを一枚ずつ外して、平皿に入れる。

② 平皿に入っている教材を一枚ずつボタンをはめて

ボタンとボタンを細いゴムひもでつなぐ。どちらからでも通すことができる。ボタンの色は、反対色にした方が見やすい。



単調な教材ですが、この教材を行うことで気持ちが落ち着いた生徒、ボタンを自分ではめ外ししようとする意欲が出た生徒もいました。

リサイクルアート・桜の木 ～作ってこわし、また作るエコ創作～

対象児童・生徒

- ・手指全体を使い、動かすことができる児童・生徒。
- ・教員が支援方法を工夫することで、太田ステージⅠ～Ⅲまで学年全体で取り組むことが可能である。

N 小4 知的障害学級

太田ステージ Ⅰ ～ Ⅲ - 2



ねらい

- ・「作ってこわし、また作る」という創作の原点を味わう。
- ・みんなで一つのものを作り上げる楽しさを味わい、アート活動の幅を広げる。
- ・手指を積極的に使い、集中力や巧緻性を高める。

(作り方)

- ①背景画を解体し、ちぎる。
- ②新聞紙を丸めガムテープで固めて枝を作る。
- ③枝にちぎった紙を糊付けする。
- ④ダンボールで作った樹にガムテープで一人一本枝を付ける。
- ⑤黒絵の具（ボンド混入）をスプレーし、樹を完成させる。
- ⑥色紙を切って花を作り、糊付けして完成。

教材の使い方 (指導方法)

- ①文化祭（1月末）の事後学習として、制作した背景画を解体し、思い出に桜の木を作ることを提案する。
- ②桜の木の写真を見せ、ホワイトボードに完成予想図を描く（目の前で描くと、関心が高い）。
- ③個別に新聞紙で枝を制作する。
- ④樹の幹は予め教員がダンボールで制作したものを準備し、枝を一人一人ガムテープで付けていく。
- ⑤樹と枝が完成したところで、桜の花びらを切って付ける。
- ⑥全体像を確認しながら、完成させ、鑑賞する。
- ⑦4月に新入生を迎える為に展示する。

*個人制作に偏りがちな図工の授業で、皆で大きな作品を作る共同制作は社会性を育てるきっかけにもなる。

また「作ってこわし、また作る」という活動は創作活動の原点でありながら、授業時数の関係上、近年は少なくなっているように感じる。小学部での図画工作の活動経験は、アートセンスだけでなく手指の巧緻性や作業への集中力など、後々の美術・工芸的活動（作業学習も含む）に大きな影響を与える。様々な活動を組み合わせながら、後々の学習活動が充実するように導くことをねらっている。

リズムシート ～リズムを作ろう～

対象児童・生徒

すべての児童・生徒

N 中1

太田ステージ I ~ IV以上



ねらい

- ・簡単なリズムを打てるようになる。
- ・楽譜の基礎を学習する。

- ・1拍を1枚のシートにおさめ、1小節に貼る数をわかりやすくした。
- ・五線上に貼るようにシートを透明にした。

教材の使い方 (指導方法)

児童・生徒の認知レベルに合わせて多様な使い方ができます。

- ・好きな音符や休符を選び、ホワイトボードに貼る。できたリズムを教員や友達と一緒にたたく。(重度・重複学級など)
- ・手本のリズムを見たり聞いたりして、そのリズム形を作る。(知・自)
- ・自分でリズムを作り、演奏する。(知・自)

見よう・聞こう ～ぞうさんとくものす～

対象児童・生徒

- ・小学部低学年の児童対象で、グループ学習向け。
- ・注目することが課題の段階から簡単なお話分かる段階まで、幅広く楽しめる。

N

太田ステージ I ~ III-1



ねらい

- ・簡単なお話を理解して楽しむ。
- ・提示した絵に注目する。
- ・枠の中に絵を貼る。
など、やり方に応じてねらいもいろいろに

- ・ぞうがすぐ落ちるように、ビニール地を使用した。
- ・くもの巣をキラキラテープにしたことで、注目度UP!
- ・ぞうの素材は児童の親しみやすいもの、扱いやすいものにするが良い。
(本教材ではカラフルなぞうにした。)
- ・落ちる展開を期待して、ハラハラした表情で見つめる様子があり、楽しんで見ることができた。

教材の使い方 (指導方法)

- ・ホワイトボードにくもの巣を貼る。
「ぞうさんとくものす」の歌に合わせて、ぞうを1匹ずつ貼っていく。
- ①「ひとりのぞうさんくものすに～」のところで、児童にぞうを渡す。
- ②「もひとりおいでと呼びました～」で手招きして、ぞうを貼るように促す。
- ③6匹(児童の人数に合わせて)貼り終わったら、最後の歌詞を変えて・・・
「あんまり重たくなったので～・・・わぁ～っとぞうさん落ちました～」
- ④「わぁ～」に合わせてくもの巣をボードから離し、ぞうを落とす。



※③と④の展開はオリジナルです。ぞう以外の動物が出てくる…などいろいろなストーリーにして楽しめる!

※実際の指導では、6人グループで1人ずつ貼ったが、教員がすべて貼って見せても、1人の児童が教員役でやっても、方法も変えてOK!

光る！香る！虹色スライム ～色と触感の変化を楽しむ～

対象児童・生徒

- ・視覚に重度障害がない児童
- ・触感の違いが分かる児童
- ・上記の条件をみたせば、多くの児童生徒が作ることができる。

N 小3 重度・重複学級

太田ステージ I ～ IV以上



暗闇の中で発光。



ねらい

- ・色の変化を視覚で分かるようになる。
- ・色水に洗濯のりを混ぜ、重濃度ホウ砂水溶液を入れるとのびるスライムができるので触感の変化を楽しむ。

作り方

- ・色水、洗濯のり、重濃度ホウ砂水溶液、を1対1対1の割合でプラスチックカップの中で混ぜる。香料は100円ショップで購入したバラの香。色水の中に夜光水溶性塗料を入れ暗闇で光るようにする。
- ・洗濯のり、重濃度ホウ砂水溶液を事前に用意しプラスチックカップに入れておく。

教材の工夫した点

- ・夜行塗料と香料を入れることで、暗闇で光り、バラの香りがするようにした。

教材の使い方 (指導方法)

- ・夜光塗料入り色水を用意して、一人で一色のスライムを作る。その後、黄色と緑色のスライムを1対1の割合で混ぜる。そうすると黄緑色のスライムができる。よって色が変化することが児童に分かる。尚、混ぜる色は好みの色でよいとする。その後、スライムを暗闇に持っていくと、さらに夜行塗料により色が上記の写真のように薄い緑に変化する。
- ・スライムを食べる可能性がある児童はマスクをして行う。

今日の予定表を作ろう

～見て・考えて・作る～

対象児童・生徒

自閉症学級の生徒を対象に作成した教材。

予定表を「書く」のではなく「作る」ことをねらいとした。

活動内容を「理解」し、見通しをもてるようにするための教材。

N 中2 自閉症学級

太田ステージ II ～ IV以上



ねらい

- ・一日の予定を自分で作り、見通しをもって授業に参加することができる。
- ・始まりと終わりを理解し、自分で予定表を作る、戻ることができる。



木材の裏面に強力マグネットをつけ、ホワイトボードにつけられるようにした。



ホワイトボードと木材の間に隙間を作ることで指を入れやすくした。また、全員が右利きのため、右側から入れやすいようにした。

教材の使い方 (指導方法)



曜日によって一日の活動番号が異なる。

写真にはないが、その日にやる活動番号のチップも自ら設定している。



①机の引き出しから予定表を出す。

②見開きのホワイトボード右側には全ての授業内容のチップがある。目の前にある担当が事前に作った予定表を確認しながら自分の左側のホワイトボードの活動番号に合わせて移していく。

③黄色は自由時間。好きな遊びや活動を選択して予定に組み込んでいく。

④授業が一つ終わったら右側のホワイトボードに戻していく。

ダンボール獅子舞 ～季節を感じよう～

対象児童・生徒

全児童・生徒が対象。
生活単元学習での学部集会で行う獅子舞
ダンス用。

N 中 自閉症学級

太田ステージ I ~ IV以上



ねらい

- ・季節ごとの行事を実際に体験し、感じる。
- ・学部として、学習場を共有する。

設計図をもとに、上下に持ち手をつけたり、前が見やすいように口の中に穴をあけたりして、使いやすいように改造した。

教材の使い方 (指導方法)

中学部の学部集会として行いながら、小学部にも声掛けをし、部門として季節を感じたり、楽しんだりできる場を作った。ダンスを披露することで楽しい雰囲気を作り、頭をかみに行く場面では、教員同士で打ち合わせ、確認をしながら、児童・生徒にとって無理のない活動となるようにした。



目指せワクチン1本！

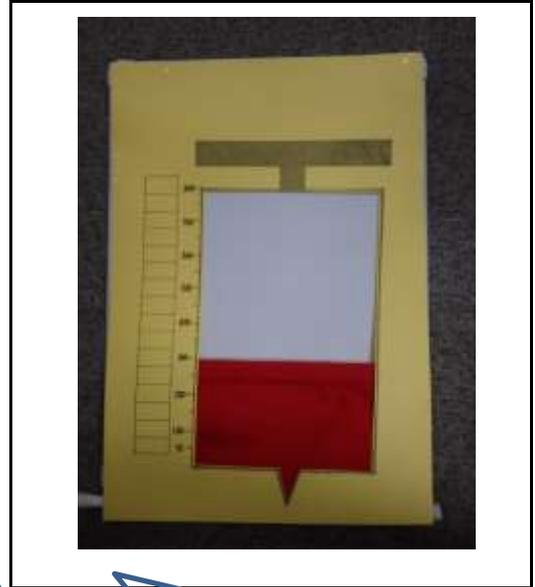
～ペットボトルのキャップ数え～

対象児童・生徒

- ・作業リサイクル 中1～中2
キャップはずし班 6名

N 中1 自閉症学級

太田ステージ II ～ III - 2



ねらい

- ・手順通り作業し、結果を自分で記録することができる。
- ・目標に向かって、意欲を高め、達成感を持つ。

- ・ペットボトルのキャップ約800個でワクチン1本となることを一目でわかるようにした。
- ・使い慣れたシールや磁石を使って自分で操作できる教材にした。
- ・終わりをはっきりさせたことで作業のスピードも速くなり、生徒の達成感が実感できた。

教材の使い方 (指導方法)

☆キャップはずし班で、はずしたキャップを数えてワクチンに寄付し、作業の励みとする

- ①キャップが50個数え終わったら、シールを1つ、注射器のメモリを1つ上げる。
- ②初めは、手本を見せるが、自分でできるように指導していく。
- ③最後まで達成したら、達成！と書いて本人に渡す。

